

感動いっぱい 夢いっぱい

平成29年6月20日 No. 8

人権週間の取り組みから

「人権週間標語」を考えました。標語からは「こんな学校にしたいな」「こんな人になりたいな」という児童の願いや気持ちが伝わってきます。

(1年生)

- ・だれにでも おたすけします ヒーローマン (A・K)
- ・やさしいことばで ころのりボンを つなごう (A・A)
- ・えがおいっぱい みんなでなかよく あそびたい (U・R)
- ・やさしいことばを かけるひとに なりたいな (O・S)

(2年生)

- ・あそんであそんで けんかして でもなかなかおり みんなともだち (A・Y)
- ・なかよくけんかをしない みんながたのしい 学校に (I・Y)
- ・いじめO チームワークで みんななかよし (K・R)
- ・うれしいことばが いっぱい たのしい学校 (S・K)
- ・いじめをやめよう やめたら みんな ハッピー! (S・T)
- ・わたしがニコニコすると みんなもニコニコ してくれる (M・Y)
- ・いじめたら いつかきみにも くるんだよ (Y・H)



(3年生)

- ・だめ いじめ 心がきずつく やめようよ (A・K)
- ・なかまはずれは かなしいよ みんなで一つの わをつくろう (N・S)
- ・いじめなら ぜったいとめるよ ぼくたちが (H・S)
- ・ちょっとまって あいての気持ちも かんがえて (M・R)
- ・いじめストップ なかまスタート (M・S)
- ・うれしいな ふあふあことばで えがおいっぱい (M・R)

(4年生)

- ・人の気持ちを考えて 一つ一つの心と むきあおう (I・R)
- ・たすけ合おう みんななかよし いじめO (K・N)
- ・いじめO ぼくらのクラスは 笑顔でいっぱい (H・S)
- ・「むし」やめて ぼくの心が 悲しいよ (H・Y)
- ・いじめなし! ぼう力・わる口 やめようよ (H・Y)
- ・ちょっとまって! その考え どう思う (M・K)



(5年生)

- ・あの人に やさしい心 あげたいな あとは守ろう いじめから (A・S)
- ・欠けている 君の笑顔のピース ぼくに分から おすそわけ (M・Y)

(6年生)

- ・悲しいんじゃ 心の声が さけびょんじゃ (K・I)
- ・助けたい 心のふとんも もってきて つめたい心を あたためよう (K・M)
- ・君の心の 土砂降りも やさしい言葉で 良い天気 (N・S)
- ・飛び越えよう 差別といじめの ハードルを (M・R)



「なかよし郵便」を出しました。「友だちにお礼を言ったり感謝したりすること」「友だちのよいところ」をはがきを書いて「なかよしポスト」に入れました。もらった人はうれしいですね。でも、忘れてはいけないのは、書いた人が友だちのよいところに気がついていることです。それが素晴らしいのです。友だちのことを思う、やさしい心が育っているのです。（全部紹介できなく申し訳ありません。2F廊下に張っていますので、参観日にご覧ください。）

- ・〇〇さんは、いつもいちりんしゃをやっているね。はじめはできなかったのに、今は、うんどうじょう1しゅうをまわることもできます。このままがんばってね。
- ・〇〇さんが、いつもみんなにやさしくしているところがすごいです。ベンきょうもおしえてくれてうれしかったです。また、おしえてください。
- ・わたしが「ピアノをならっている」っていったら、「すごい！」って言ってくれてうれしかったよ。
- ・〇〇さんは、つじせんせいのおはなしをきくとき、いつも「じっ」とみているところがすごいの。
- ・〇〇さんは、すぐ「ごめんなさい」といってくれるから、わたしもうれしいきもちになります。なかよくしようね。
- ・〇〇さん、ぼくが1年生のころタイヤとびができないとき、「がんばって」と言ってくれてありがとう。また、タイヤとびをしようね。
- ・こまっているとき、やさしくおしえてくれてありがとう。〇〇さんみたいになりたいな。
- ・〇〇さんは、足がはやいから、いつもおにごっこをいっしょにするのがたのしいよ。また、たくさんあそぼうね。
- ・いつもせいいっぱいがんばっている〇〇さんがすごいです。組体操では土台としてがんばっていたのがいっしょに残りました。
- ・いつも動物ごっこで遊ぶのを、さそってくれてありがとう。〇〇さんのゆずってくれるところがすきだよ。
- ・いつもいっぱい遊んでくれたり声をかけたりしてくれてありがとう。〇〇さんは一番話しやすい人だし、おもしろいことをいっぱい話してくれます。私もそんな人になりたいので、あこがれています。
- ・〇〇さんは、体力があって毎日ランニングしていると聞いてびっくりしました。また、がまんができるところがいいなと思います。
- ・〇〇さんのすごいところは、そうじの時、ちりとりで他の子がうまくとれていない時に教えてあげたり、私がほうきを片付けると「ありがとう」と言ってくれたりできるところです。
- ・〇〇さんは、いつも人にやさしくしてあげてすごいです。それに人が困っていたら、近づいてきて、やさしい言葉をかけていてすごかったです。また、その言葉をみんなにかけてください。

体力をつけるために・新体力テストに向けて

小学校では、児童の**体力をつける**ために、また、新体力テストに向けて、この時期に業間運動をしています。「新体力テスト」には、50m走（走力）・握力（腕の筋力）・反復横跳び（敏捷性）・立ち幅跳び（跳躍力）・長座体前屈（柔軟性）・上体起こし（腹筋力）・ソフトボール投げ（投力）・20mシャトルラン（全身持久力）の、8つの種目があります。全国の同年代の児童と比べ、自分の体力がどのくらいなのか、長けている点、またこれから伸ばしていかなければいけない点わかります。

人数の関係で、学校の傾向は出にくいですが、過去のデータを多く見てみると、反復横跳びや立ち幅跳びは上回っている傾向にあります。反対に、ソフトボール投げの記録は低いです。少人数のため、ドッジボール等で遊ぶ機会が少ないのが原因の一つです。また、20mシャトルランの力も伸ばしていきたいです。この種目は、持久力だけでなく、「友達に負けたくない」とか「1往復でも多く走るんだ！」という気持ちの部分が左右します。この「**負けん気**」の精神的な面をどうのばしていくかが、本校の課題になります。

学校体育だけではカバーできにくい部分もあります。倉敷は、サッカーや野球、剣道や水泳などの社会体育が盛んです。多人数の集団の中で、切磋琢磨をしたり、チームワークを学んだりすることは、本校の児童にとって、とても有意義なものになると思います。

とりあえず腕立て伏せ
「やるぞ!」



投げ方が大切です。
「ピッチャー ゆあさん」



体重を支える腕の力とバランス
「一番高いところまできた!」



空中フォームと柔らかな着地
「着地が上手!」

